



凡人くらぶ
清水 宏 議員

▼情報開示から地域活動が 始動するのではない

Q 現段階で、どこまで情報開示ができるのか、またその手続きはどうか。
A 高齢者等の名簿情報を外部に提供するためには、個人情報保護の観点から、本人の同意が必要だと考えている。本人から同意が得られた場合、目的外使用防止の措置を講じた上で開示することになる。なお、地域で見守り活動を行う団体等に対し、適切な情報提供ができるよう、見守りが必要な高齢者等について、本人の同意を得た上で名簿を作成する方向で検討している。

Q 町内会・自治会は少子高齢化で人員が不足しているのに、市職員を地域の担当職員として割り当てられないか。
A 地域の活性化策として、職員も関わりながら地域のコミュニティ組織のあり方について検討していきたい。
Q 去年十一月に高齢者が行方不明になり、約二週間後に遺体で発見された。発見に時間がかかったことは、地域のネットワークの不備があったから

ではないか。また、人権等には配慮する必要があるが、徘徊等の危険性がある方には、同意を取り、GPS機能を利用することは考えていないのか。
A 地域において、お互い声をかけられる関係が構築されると、行方不明者の捜索等にも効果が出てくると思う。GPSについては、家族の申し出や、本人からの申請等の条件が必要になると思うが、研究してみたい。

▼子や孫世代への責任はないのか

Q 子供や孫世代の将来の幸福を考えるならば、原発は将来世代に対して無責任だと思いませんか。
A 原子力については、議論の内容が大変専門的で高度なため、大変難しい問題だと考えている。当然ながら、放射能の影響を子孫にまで及ぼすことは避けなければならないと思っている。

▼「幸福観」転換の時ではないか

Q 天如塔開祖の廣田言証師の私利私欲を脱した幸福観に学ぶことがあると思いませんか。
A 富や名誉のためではなく、苦しんでいる人のために尽くした言証師の生き方については学ぶべきものがあると思う。市民の皆様にも、地域住民のきずなを大切にしながら、幸せな生活を送ってほしいと願っている。



実践クラブ
北浦 守金 議員

▼地方創生について

Q 地方創生関連法案が成立したが、本市はどう取り組むのか。
A 国の長期ビジョン及び総合戦略をもとに、本市における人口の現状と将来の展望を示す地方人口ビジョン及び地域の実情に応じた今後五カ年の施策の方向性を示す島原版総合戦略を策定するように準備を進めている。島原版総合戦略は、自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視の趣旨に基づき、本市の人口減少対策の三本柱を盛り込みながら、地域の強みや魅力を生かした戦略を策定していきたい。

Q 国は地方自治体に、平成二十七年中に地方版総合戦略を策定するように依頼しているようだが、本市はいつ策定するのか。
A 県と調整しながら、早い時期に策定するように進めている。

Q 総合戦略の中には、客観的な評価指標を入れるのか。
A それぞれの事業に評価指標を設定して、毎年度、その達成度や改善点を見つめながら事業を行うように予定している。

▼島原半島ジオパークについて

Q ジオパークの世界認定を目指した目的は何だったのか。
A 島原半島では、過去から現在に至るまで、活火山である雲仙火山とその他の地域に暮らす人々とのかわりが、ほかの地域では見られない独自の歴史や文化的特徴を生み出しており、活火山と人との共生をテーマに、地域遺産を教育や地域振興に活用するために、ジオパークの認定を目指した。

Q 世界ジオパーク認定による、①教育面と、②観光面の効果はどうか。
A ①小学校三年生が雲仙岳災害記念館など、六年生が市内にある白土湖などのジオサイト、中学校一年生が千々石断層などの半島内のジオサイトを見学している。このような学習を通じて、ジオパークの恩恵に気づかせるとともに、自分たちが住んでいる場所の火山災害の歴史や今後どのような対処をすればよいのかを学ばせている。②島原半島ジオパーク協議会が実施したアンケート調査によると、旅行の目的として、島原半島ジオパークを見学、体験すると回答した観光客の割合が十五%程度となっている。このことからジオパークは観光面、経済面に一定の効果をもたらしていると思う。